

令和 8 年 8 月 6 日

【富山県美術館】開館 10 周年プレ企画 令和 8 年度 TAD アート・レクチャー（全 5 回） 開催のお知らせ

開館10周年プレ企画
令和8年度 富山県美術館 TADアート・レクチャー 全5回

富山県美術館では、当館収蔵作品をはじめとする多様な作品の魅力を伝える機会として、アーティストや研究者などによる講演会「TAD アート・レクチャー」を開催しています。

各回 申込不要・聴講無料
[時 間] 14:00~15:30 (開場13:30)
[会 場] 富山県美術館 3階 ホール
[定 員] 50名

第1回 9月6日
絵画は何を語るのかー保存修復と作品鑑賞の現場から
田中みゆり氏 (京都大学大学院人間・環境学研究科准教授)
近年顕著になった「ペリトラム」事件をきっかけに、作品鑑賞に携わられました。
美術品の保存・修復の現場についてお話しいただきます。

第2回 10月31日
鑑賞の山を登って
風間サチ子氏 (芸術家)
当館の大型木彫作品で知られる美術家、当館の収蔵品から
『コッパカバーラ』やこれまでの制作活動についてお話しいただきます。

第3回 11月28日
わたしの心・眼と創作について
藤村文雄氏 (美術家)
当館の収蔵品から知られる美術家、当館の収蔵品とオールフィン
ゴワやこれまでの制作活動についてお話しいただきます。

第4回 2027年2月7日
日本の近現代美術と女性の美術家たち
中嶋由美子氏 (富山県立大学文学部教授)
女性美術家の研究で知られ、2019年に「アクト・アクション」も出版。
2025年から翌年にかけて学術協力した展覧会が開催されました。

第5回 3月13日
セザンヌの色彩
森田真由美氏 (美術家、京都府立大学芸術研究科)
ポール・セザンヌの第一人者、企画展「シンタイ・展覧会」の開催に合わせて、
セザンヌの色彩の芸術家と人々の関わりについてお話しいただきます。

富山県美術館
Toyama Museum of Art and Design

富山県美術館では、当館収蔵作品をはじめとする多様な作品の魅力に迫る機会として、アーティストや研究者などによる講演会「TAD アート・レクチャー」を開催しています。令和 8 年度は、修復・保存に携わっている方や美術家、女性美術家の研究者や美術史家など、多彩な講師を迎え、全 5 回にわたり開催します。

実施概要

日時：2026 年 9 月 6 日、10 月 31 日、11 月 28 日、2027 年 2 月 7 日、3 月 13 日 各
回 14 時 00 分～15 時 30 分（開場 13 時 30 分）

場所：富山県美術館 3 階ホール

対象：定員各回 50 名（申込不要）

参加費：無料

内容

【第 1 回】

日時：9月6日（日曜日）14時00分～15時30分（開場13時30分）

演題：「絵画は何を語るのかー保存修復と作品調査の現場から」

講師：田口かおり氏（京都大学大学院人間・環境学研究科准教授）

近年話題になった「ベルトラッキ贋作事件」に際し、作品調査に携わられました。

美術作品の修復・保存のお仕事についてお話しいたします。

臨時保育室を開設します。

保育対象年齢：月齢6か月～未就学のお子さま

保育時間：9月6日（日曜日）13時30分～15時45分

対象：TADアート・レクチャーに参加される方

定員：6名（先着順）

費用：無料

申込方法：申込フォーム、または電話(076-431-2711)

申込フォームは、当館ウェブサイト、本イベントページに掲載いたします。

申込締切日：2026年8月20日（木曜日）

※申し込みは先着順に受け付けます。定員に達し次第、申込締切日以前でも受付を終了します。

※臨時保育室を利用される方に、8月24日（月曜日）までにメールでご連絡いたします。

【第2回】

日時：10月31日（土曜日）14時00分～15時30分（開場13時30分）

演題：「魔の山を旅して」

講師：風間サチコ氏（美術家）

白黒の大型木版画作品で知られる美術家。当館の新収蔵作品《ツァウバーベルク》やこれまでの創作活動についてお話しいたします。

【第3回】

日時：11月28日（土曜日）14時00分～15時30分（開場13時30分）

演題：「わからない彫刻と自作について」

講師：富井大裕（とみい・もとひろ）氏（美術家）

既製品を組み合わせた立体作品で知られる美術家。当館の新収蔵作品《ゴールドフィンガー》やこれまでの創作活動についてお話しいたします。

【第4回】

日時：2月7日（日曜日）14時00分～15時30分（開場13時30分）

演題：「日本の近現代美術と女性の美術家たち」

講師：中嶋泉氏（大阪大学大学院人文学研究科准教授）

女性美術家の研究で知られ、2019年に『アンチ・アクション』を出版。2025年から翌年にかけて学術協力した展覧会が開催されました。

第1回

令和8年度 富山県美術館 TADアート・レクチャー

富山県美術館 10周年企画

絵画は何を語るのか

——保存修復と作品調査の現場から——

【講 師】 京都大学大学院 人間・環境学研究科 准教授 田口 かおり氏

美術作品にはたくさんの情報が隠れています。美術品の絵具層を削いでその奥へ上目を見るとき、私たちは一枚の絵画からどのような物語を読みとることが出来るのでしょうか。本講演では、真贋の判断をめぐって近年大きな注目を集めた《少女と白鳥》（高知県立美術館所蔵）の調査事例を振り返りつつ、家屋調査や科学分析によって明らかになる作品の履歴をたどりながら、絵画に刻まれた情報を紐解き、その声に耳を傾ける保存修復の仕事についてお話します。

【日 時】 9月6日①
14:00-15:30（開場13:30）
【会 場】 富山県美術館 3階 ホール
【定 員】 50名
申込不要・聴講無料

富山県美術館 富山県富山市富山町1-1-1
TEL 076-431-2711 FAX 076-431-2712
https://tad.tyngm.jp/

富山県美術館 富山県富山市富山町1-1-1
TEL 076-431-2711 FAX 076-431-2712
https://tad.tyngm.jp/

【第5回】

日時：3月13日（土曜日）14時00分～15時30分（開場13時30分）

演題：「セザンヌの林檎」

講師：永井隆則氏（美術史家、京都橘大学客員研究員）

ポール・セザンヌ研究の第一人者。企画展「シンシナティ美術館展」の開催に合わせて、セザンヌが後世の芸術家に与えた影響についてお話しいたします。

臨時保育室について

TAD アート・レクチャーでは、開催日当日に臨時保育室を開設する予定です。（要事前申込・先着順）

詳細は決まり次第、当館ウェブサイトにてお知らせいたします。

TAD アート・レクチャーとは

富山県美術館に、アーティストや研究者など、第一線で活躍する方をお招きし、広く作品やアートの魅力に迫る講座です。今まで気づかなかった意外な事実や、作品の見どころなどの理解を深める機会を提供します。

